

7月臨時教育委員会会議録

- 1 日程 令和2年7月30日(木)
- 2 場所 藤井寺市役所 3階 会議室305
- 3 案件
日程第1 会議録署名委員の指定について
日程第2 議案第24号 教科用図書採択について
- 4 出席委員
教育長 濱崎 徹
教育委員(教育長職務代理者) 藤本 英生
教育委員 糸野 聡史
教育委員 福村 尚子
教育委員 足立 敦子
- 5 教育部出席者 教育部長(教科用図書選定委員長)
教育部理事兼次長(教科用図書選定副委員長
教育総務課長、学校教育課長、学校教育課課長代理兼チーフ、
学校教育課主幹、学校教育課主幹、学校教育課主幹、
学校教育課主幹
- 6 書記 教育総務課課長代理
- 7 傍聴者 12人

午前10時00分 委員会開会を宣して日程に入る。

○教育長

只今から、臨時教育委員会を開会いたします。少し長時間になるかと思いますが、最後までご審議のほどよろしくお願いいたします。

本日の臨時教育委員会の案件は、「令和3年度使用小学校教科用図書の採択」及び「令和3年度使用中学校教科用図書の採択」となっております。

内容に入る前に、本日の会議録署名は、藤本委員にお願いいたします。

まず、最初に「令和3年度使用小学校教科用図書の採択」を行います。小学校教科用図書の採択については、文部科学省通知「令和3年度使用教科書の採択事務処理について」に基づき、「無償措置法第14条の規定に基づき、無償措置法施行規則第6条各号に掲げる場合を除いて、令和元年度と同一の教科書を採択しなければならない」となっております。藤井寺市におきましても、「今年度は昨年度と同様のものを採択すること」といたします。以上、よろしくお願いいたします。

次に、「令和3年度使用中学校教科用図書の採択」を行います。選定委員会の答申

を踏まえながら、学習指導要領の趣旨を踏まえ、本市の実態も考慮した中で、最適な教科書を採択するために、幅広い審議を行いたいと思います。

去る7月14日に藤井寺市立学校教科用図書選定委員会の答申を受けました。答申では、藤井寺市によりふさわしいと考えられる教科用図書の推薦もしていただいております。本日は、その答申内容も参考にしながら審議し、採択を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

それでは、国語の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

それでは、国語の採択候補図書4社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、「目標・内容の取扱い」、「組織・配列」、「創意工夫」に特色がございます。日常生活の中で陥りがちなつまづきの場面が、「学びの扉」で漫画として描かれ、課題解決的な言語活動を数多く設けるなど、対話を通して学びを深められるように工夫がなされています。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に三省堂でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「組織・配列」、「創意工夫」に特色がございます。各教材において、学習の手助けとなる資料を掲載し、生徒が内容を理解し、自分の考えを深め、言葉の力、学ぶ力を高められるように配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は三省堂を推薦しております。

次に教育出版でございますが、各項目で配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「内容の程度」に特色がございます。自立した個人として、他者を尊重し、社会形成の一員としての自覚をもてるように、SDGsの観点から教材を配置し、社会で起こっていることを自分の問題として捉えられるように工夫がなされております。

最後に光村図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「内容の程度」、「組織・配列」に特色がございます。視野を広げ、多角的なものの見方ができるように教材の内容が工夫されており、言語文化に関しては、語彙を増やしたり、語感を磨いたり、言語活動の指導が充実するよう配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は光村書籍を推薦しております。

以上です。

○教育長

ただいま、委員長から説明をいただきました。それでは委員の先生方で、選定委員会に何か質問があればお願いします。

○委員

よろしいでしょうか。それぞれの特色はよくわかりました。藤井寺市の子どもたちの現状として、私は子どもたちが言葉を使うこと、例えば上手く話したり聞いたり、伝え合う力や読み取ったりする力に課題があると考えています。そういった点で国語科の果たす役割は大きいと思うのですが、選定委員会ではそのような点で議論されたりしたのでしょうか。どのような点で議論されたのか、教えてください。

○選定委員長

委員がおっしゃったとおり、選定委員会ではまず、子どもたちの日常生活につながる基礎的な言語能力の育成について、どの教科書が適切に扱われているのか、という点で議論いたしました。

また、それらの基礎的な言語能力の定着にあたり、授業の中で教師が教え込むようなスタイルではなく、子どもたちが主体的に学びを進めていけるようなスタイルが大切であるという議論になり、その点につきましても、本市の子どもたちが意欲的に学習を進めていきたくなる工夫をしている教科書であるかどうか、などが議論されました。

○教育長

ではまず、子どもたちの基礎的な言語能力を育んでいくという観点で考えたときに、ご意見ございますか。

○委員

やはり国語科ですから、どの教科書も言語能力を育むための工夫というのは、すぐくされているなあと感じました。そのなかでも私は、特に光村図書の教科書がいいと感じました。例えば1年生の教科書、80ページを見ますと、先ほど選定委員長の説明にもありましたが、ここにある「言葉を集めよう」というような、子どもたちの語彙を増やすための教材がたくさん用意されているのです。授業の中で繰り返し学んでいくことで、子どもたちにもしっかりと基礎基本の力が育っていくのではないかなと思います。

○教育長

今、語彙を増やすということで、そのための教材と、基礎基本の力の育ちという観点のご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

確かにそうですね。その点で言いますと、私は三省堂の教科書もいいなと思います。例えば、同じ1年生の教科書、P28、29を見ますと、「学びの道しるべ」というページがあるのですが、「思考の方法」や「語彙を豊かに」といったように、いろいろなコーナーが設けられています。授業ではこういったコーナーを活用して、いろんな角度から、子どもたちが楽しく、自分たちの語彙力をのばすような活動に取り組めるのではないかなと感じました。

○教育長

語彙力というご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

楽しく基礎基本を学べるということ、私は東京書籍がおもしろいなと思いました。これも選定委員長の説明にあったのですが、あちこちの場面で生徒の日常生活が漫画で描かれていて、そこで書かれている問題を解決するために、巻末の基礎編で学べるので、生徒にとって分かりやすいと思いました。

○教育長

選定委員長の説明にもありました「学びの扉」は漫画で描かれており、対話を通して学びを深められるよう工夫がされているという委員のご意見でした。

今日も、大阪でコロナウィルス感染者がたくさん出てきたということで、学校現場も大変苦勞していると思います。対話的な学習については、これからより一層工夫が必要などころではありますが、やはり人との関わりの中で言葉の力を培っていくことは、とても大切な観点ではないかと思えます。

さらに、選定委員会でも議論になったとありましたが、教師が教えこむのではなく、何よりも生徒が意欲的に学びを進めることができるということが重要なポイントだと考えるのですが、委員の皆さんはどのように感じられましたか。

○委員

教育長がおっしゃったように、一層工夫が必要になるでしょうけれども、昨年度の小学校の時のように、対話的な学習というのはとても大切なポイントだと思います。その点でいうと、三省堂の例えば1年生の30ページ。「グループディスカッション」というコーナーが設定されているのですが、イラストや見やすい色使いで記載されていて、生徒がお互いに、意欲的に学びを進められるのではないかと感じました。

○教育長

対話的な学習ということでご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

確かに私も、対話的となると難しいなと思うのですが、それでも各社大切なポイントとして工夫されているなと思います。私は教育出版ですけれども、タイトルから「伝え合う言葉」だし、意識されているのかなと思いました。

あと、生徒が意欲的に学習するには、学習する見通しがたてられるかどうかが大変だと思うのですが、その点、各教材の最初に「学習ナビ」というのがあって、例えばでいうと、1年生の18ページ。自分でも見通しが立つことで読み進められたり、意欲的に学習が進むのではないかなと感じました。

○教育長

今、「学習ナビ」の学習する見通しが立てられるという観点でご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

見通しが持てるというのは、確かに生徒にとって大切なことだと思います。その点で見たときに、やはり私は、光村図書の教科書は分かりやすいと思います。最初の見開き、例えば1年生でいうと6ページ。ここの巻頭での記載もそうなのですが、色々な学習の合間にも、学習の見通しが意識されていて、生徒がつまずきそうになった時に、もとにもどって考えることができるので、特に国語科が苦手な生徒にとっては、とても安心して学習を進められるのではないかと思います。安心して学習を進めることが、意欲的な学習の土台になると思います。

○教育長

今、特に国語科の苦手な生徒にとっての意見をいただきました。意欲的な学習を進めていくためには、委員がおっしゃられたように、生徒にとって安心して学習に取り組める環境設定の一つとして、いろんな工夫があり、わかりやすい教科書の存在は大きいですね。

他にも何か、委員の皆さんでお気づきの点はありますか。

○委員

私は同じ教材で比べてみたのですが、例えば3年生の「おくのほそ道」について、東京書籍は135ページから、三省堂は120ページから、教育出版は116ページから、光村図書は154ページからになります。

ざっと見比べてみまして、これは私の考えですけれども、生徒が興味を持って学習できるのは、私は東京書籍、あと三省堂もいいと思います。

○教育長

生徒が興味を持って学習できるという観点で4つを見比べてくださいました。他にご意見ございますか。

○委員

少し今話している論点と離れるのですが、読書との関わりも国語科では大切ではないかなと思います。その点、三省堂の教科書は生徒にとって関心が高くなるような取り上げ方をしていると思いました。例えば、1年生の92ページ。親しみのある作家の読書体験のコラムを載せたりして、生徒の読書活動につながりやすいのではないかなと思いました。いかがでしょうか。

○教育長

今、読書活動の観点からご意見をいただきました。特に中高生の読書離れが言われている中で、読書活動というのも大変大きな課題であると思います。他にご意見はないでしょうか。

今、様々なご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにとってふさわしい教科書を選択するにあたり、今までのご意見を総括していきますと、国語科では、基礎基本となる言語能力の育成を柱として、子どもたちが自らの学習に見通しを持ち、意欲的に学習に取り組むことができるということが重要である、というのが主な意見であったと思います。

他に意見がないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 1 人、三省堂 3 人、教育出版 0 人、光村図書 1 人

○教育長

三省堂が 3 名挙手されていますので、採決の結果、国語は、株式会社三省堂を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、書写の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

書写の採択候補図書 4 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の程度」、「創意工夫」に特色がございます。文字を正しく整えて書くための知識・技能を「書写のかぎ」として系統的に整理をされ、確実な学習内容の習得が図れるように工夫をなされております。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に三省堂でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「内容の程度」、「創意工夫」に特色がみられます。毛筆で習得したことを、他教科や日常生活で活用できるよう、硬筆の書き込みページが設けられており、日常に活用できる力を育成に十分配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は三省堂を推薦しております。

次に教育出版でございますが、各項目で配慮がなされており、特に「組織・配列」、「創意工夫」に特色がみられます。学習の進め方について「目標」「考えよう」で課題をつかみ、「生かそう」「振り返ろう」で学習を振り返るように、学習や日常に生かす構成となっており、生徒が学習の流れを主体的につかみやすいように工夫がなされております。

最後に光村図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「内容の程度」、「組織・配列」に特色がみられます。「書写ブック」には、毛筆の学習を生かして、硬筆で書く活動を豊富に取り入れ、毛筆での学習を定着させるとともに、繰り返し学ぶことで硬筆の能力を高め、確かな「書く力」につながるよう配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は光村図書を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、書写の審議をお願いします。

○委員

私はやはり、書写では字を美しく正しく書く力を身に付けることが一番大切なことではないかと思えます。その点でまず、姿勢や用具の扱い方については、すべての教科書で丁寧に扱っているのですが、私は三省堂が特に丁寧かなと思えました。ちょっと見ていただけますか。三省堂の12ページです。硬筆についても丁寧に取
り扱っていますし、細かな所まで配慮されているかなと感じました。

○教育長

12ページを見ていただいて委員のご意見は、美しく正しく書く力を身に付けるために、姿勢や用具の扱い方について大変丁寧に書かれているという意見でした。他に
ご意見ございますか。

○委員

文字を正しく美しく書くというのは、私も書写で身に付けないといけない基本的な力なのかなと思えます。あと、やはり生徒にとって見やすいというのも大切な
かなと思えます。その点で光村図書ですが、毛筆の学習で、例えば、60ページ。半紙と同じ大き
さで、学びやすいのではないかと思えます。

○教育長

美しく正しくに付けくわえて、見やすいという光村図書のご意見でした。他に
ご意見ございますか。

○委員

生徒にとって、意欲的に学べるということも大切かなと思えました。親しみやす
いという点でいいますと、まず、教育出版では例えば44ページ。おじいさんのキ
ャラクターや生徒の吹き出しを使って、気をつけるべきポイントが解説されていま
す。同じように、東京書籍では、例えば10ページ。穂先のイラストや、こちらも
かわいいイラストの吹き出しで大切なポイントを解説しています。ちょっとしたこ
とかもしれませんが、中学生であってもこういった演出によって、楽しみながら
意欲的に学べるのではないかなと感じました。

○教育長

今度は学習の方で、意欲的に学べる工夫がされているというご意見でした。他に
ご意見ございますか。

○委員

そういう観点も非常に大切なことだと思います。委員がおっしゃった点でいうと、
三省堂の教科書にも、鉛筆や筆のイラストで大切なポイントを解説しています。さら
に私は、三省堂の教科書がいいなと思った所があります。例えば、20ページか
ら23ページ。前のページまでの、毛筆で習ったことを活用して、硬筆で練習する
ページが設けられています。他でも結構、書き込みのページが用意されていて、学
んだことを、生徒が日常で使える書く力に生かされるのではないかなと思えます。

○教育長

今、委員がおっしゃったように、書写の時間で学んだことが、生徒の日常に生かされるということが、何よりこの教科で求められるのではないかと私も考えております。生徒の日常の書く力につながるという点で、委員の皆さん、他にご意見ございますか。

○委員

光村図書の「書写ブック」というのが私はいいと思います。別冊になるもので、確認してもらえますか。小学校の復習から行書の練習まで、いろいろな内容について練習できるので、生徒の日常の力につながるのではないかなと思います。

○教育長

委員も、日常の力につながるのではないかとということでご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

私も生徒の生活につながっていくということに注目してみたのですが、まずは東京書籍。例えば75ページですが、防災訓練を取り上げていて、実際の生活で何を、誰に、どう伝えていくのかを生徒自身が考える場面を設定しています。

もう一つ、三省堂。64ページです。行書について学んできた後で、楷書と行書を日常生活でどう使い分けるのか、自分で字体を考えて、場面ごとに書き分ける設定しています。

私は「生徒の生活につながっていく」力を育てるには、生徒自身が考えることが大切なのではないかなと思ひ、こういった場面設定はとても工夫されているかなと感じました。

○教育長

考える学習が必要ということで、日常の書く力を育てるために場面設定等を工夫した教科書を見ていただきました。他にご意見ございますか。

○委員

確かに委員のおっしゃるとおりかなと思います。学んだことを生徒自身が考えて、実際に日常生活の場面で使い分けようと思ったり、何より使っていこうと意識できないと、本当の意味での書写の力は育っていかないのかなと思いました。その点で私は、この2社を見たときに、自分の主観かもしれませんが、三省堂の教科書の方が、生徒自身で自分の日常生活をより意識した学習が進められるのかなと思っています。

○教育長

生徒が主体的に取り組まないと書写の力はつかないということで、そういう意味で2社を見比べてご意見をいただきました。

各委員より様々なご意見をいただきましたが、振り返りますと、書写ではまず、

美しく正しい文字について、自ら意欲的に身に付けていくことが大切であるということ、さらに、身に付いた力が、生徒の日常生活の中でしっかりと生かされる、つまり身に付けた技能を日常で使えるようになることが大切であるというのが、主な意見だったと思います。他にご意見はございますでしょうか。

他に意見がないようでしたら、採決に移りたいと思いますがよろしいですか。それでは先ほどと同じように、みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍0人、三省堂4人、教育出版0人、光村図書1人

○教育長

三省堂が4名挙手されていますので、採決の結果、書写は、株式会社三省堂を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、社会（地理的分野）の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

社会（地理的分野）の採択候補図書4社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「発展的な学習」、「創意工夫」に特色がございます。自然災害と防災・減災への取組について、「見方・考え方」のコーナーでは、三陸地域など他地域と身近な地域とを比較して、必要な防災対策を考えましょうという具体的な内容で考察がなされており、学習を深める工夫がなされています。

次に、教育出版でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「創意工夫」、「発展的な学習」に特色がございます。世界と日本の地誌学習の節末には、今日的な課題に迫るコラム的な特設ページ「地域から世界を考えよう」「現代日本の課題を考えよう」などが設けられており、興味・関心に応じて個々に探求する学習に取り組めるように構成がなされています。このような理由から、選定委員会は教育出版を推薦しております。

次に帝国書院でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「創意工夫」に特色がございます。章の学習をふりかえろうでは学習した知識をもとに、「地理的な見方・考え方」を働かせながら主体的・対話的に「章の問い」を振り返ることで、深い学びにつなげられるように配慮がなされています。課題の整理、作業等を通じて、思考力、判断力、表現力を高める構成になっています。このような理由から、選定委員会は帝国書院を推薦しております。

最後に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「目標・内容の取扱い」に特色がございます。スキルUPでは、写真や資料からの読み取りの仕方など地理的分野の学習に必要な技能を6種類に整理

し、生徒の発達段階に応じて習得し、地理的スキルを定着させることができるように工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、社会（地理的分野）の審議に入りますが、まず、私から、東京書籍の167ページを見ていただけますか。今年も7月に入り九州で豪雨がございました。最近各地で大雨による災害がありますが、これからの今日的な課題への対応という点では、東京書籍は委員長の説明にもありましたように、自然災害についての記述がありますね。地域の防災マップを集めて調べるなど防災教育についても取り上げているところも興味深い点でご意見差し上げたいと思います。他にご意見はございますか。

○委員

確かにそうですね。その点でいくと、帝国書院の教科書も「未来に向けて」というコーナーで防災を取り扱っています。例えば151ページでは災害時の帰宅困難者対策を扱っていますし、191ページでは土砂災害に備えた防災教育を扱っています。

ところで、私は帝国書院の教科書のイラストや写真が多く、とても見やすいところがよいと思います。地図も見やすく、読み取りやすい点もよいのではないのでしょうか。

○教育長

付け加えて、見やすいという点もご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

見やすいという点では、私は教育出版も見やすいかと思います。写真も多いですし、地図もわかりやすいと思います。97ページの地図のほか、多くのページもついています。「読み解こう」というコーナーで資料の読み取り方を学べるのもよいかなと思っています。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

私はやっぱり帝国書院の教科書は写真が多く、印象に残りやすいと思います。例えば204ページ。近畿地方の各地の写真などは、非常に鮮やかで興味がわくと思います。

○教育長

委員のご意見にもありましたが、私も帝国書院の教科書は実に目に優しく見やす

と思います。色や字のユニバーサルデザインということでしょうか。

また、帝国書院の教科書は、知識や思考力・判断力・表現力とそれぞれの観点で振り返りができるようになっていて、まとめのページも充実しているのではないかと思います。

地理的なものの見方や考え方を育む観点で、まとめや振り返りという点ではどうでしょうか。委員のみなさん、ご意見ございますか。

○委員

東京書籍の教科書は、各授業の終わりにチェック&トライというコーナーがあります。このコーナーを使って、それぞれの時間・單元ごとに時間の振り返りができていいのではないのでしょうか。

また、教育出版の教科書のまとめはワードチェックという言葉の説明させる活動もあって、キーワードから振り返りができて非常にいいかと思えます。

○教育長

まとめ振り返りということで、東京書籍のチェック&トライ、教育出版のワードチェックというご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

私は日本文教出版の例えば65ページ。各授業の終わりに「深めよう」というコーナーで話し合うテーマを提示しております。対話的な学習を通して授業の振り返りやまとめができるようになっていて効果的ではないかと非常に感じました。

○委員

私も日本文教出版の70、71ページに「チャレンジ地理」というコーナーがあります。課題解決的なテーマでアクティブラーニングとして位置づけることができるような活動があります。学習のまとめのコーナーと一緒にすることで、より効果的ではないかと思えます。

○教育長

お二人の委員より、学習という面で対話的な学習や課題解決的なアクティブラーニングという、今、課題になるような視点でのご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

まとめや振り返りはもちろん大切だと思いますが、私が注目したのは日本文教出版です。ページは203ページで、皆さんもご覧になられたと思いますが、百舌鳥・古市古墳群に関する記述の中で、古市古墳群と藤井寺市を取り上げています。

144ページもご覧ください。こちらは、阪神淡路大震災や関西国際空港など大阪に関わりのある記述があることも評価すべき点だと思います。地理の学習の中で、自分の住んでいる地域が取り上げられていることは、地域学習と合わせて、生徒の興味関心を引くことにつながるのではないのでしょうか。

○教育長

地元・地域の話題等は当然、興味関心に結びつくということで大切ではないかなというご意見をいただきました。他にご意見はないでしょうか。

○教育長

たくさんご意見を聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたり、いろいろなご意見をまとめていきますと、写真やイラストなど、様々な地域の様子が生徒にとって捉えやすいものであるかどうか、また、まとめや振り返りの効果について議論いただきました。最後に地域に即した教材であるかということもご意見をいただきました。

他に意見がないようでしたら、採決に移りたいと思います。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 0 人、教育出版 0 人、帝国書院 2 人、日本文教出版 3 人

○教育長

日本文教出版が 3 名挙手されていますので、採決の結果、社会（地理的分野）は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、社会（歴史的分野）の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

社会（歴史的分野）の採択候補図書 6 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「組織・配列」、「発展的な学習」に特色がございます。各ページで学習内容のチェック＆トライが設けられており、基礎・基本を確認をするチェックと、要約や説明など発展的に言語活動に取り組むトライが設定されています。学習課題の解決と共に、学習内容の定着を図ることができるよう工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「内容の程度」、「発展的な学習」に特色がございます。「読み解こう」のコーナーが計 12 か所設けられ、史料を読み取ったり、考えを深めたりすることができる問いが用意されているなど、読み解きのガイドとして活用することができるように工夫がなされております。

次に帝国書院でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「組織・配列」、「内容の程度」に特色がございます。学習内容を見通す学習課題の解決に沿って展開し、「確認しよう」の問いで学習内容を振り返り、知識の確実な習得を促す構造に

なっております。また、「説明しよう」では学習内容を言語活動につなげ、思考力、判断力、表現力の育成を促せるよう工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は帝国書院を推薦しております。

次に山川出版社でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」、「創意工夫」に特色がございます。各時代の世界の様子が豊富に示されており、世界史と日本史のつながりから時代背景や世界情勢がわかるような工夫がなされております。より専門的で深い知識が獲得できるような豊富な情報量が確保されております。

次に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」、「組織・配列」、「創意工夫」に特色がございます。教科書本文は十分な文字量を確保する中にも、平易で丁寧な記述で生徒が読み取りやすくなっています。地図・写真などの資料もわかりやすい説明があり、生徒が歴史に親しみやすいように配慮がされています。このような理由から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

最後に育鵬社でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「組織・配列」、「内容の程度」に特色がございます。本文は平易な言葉で生徒が学習内容を理解しやすいように配慮がなされており、土器や美術品などの写真の資料について、出土場所や実際の大きさなど詳細な情報が示されております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、社会（歴史的分野）の審議をお願いします。

○委員

審議に入る前に、選定委員会でどんな点が議論の柱になっていたのか教えていただけませんか。

○選定委員長

選定委員会では、歴史的な見方・考え方を育むことを土台としながら、なおかつ歴史の苦手な生徒にも親しみやすい教科書であるかどうか、ということ。また、学習内容のまとめや振り返りなどの使いやすさなどが議論の柱となっております。

○教育長

よろしいでしょうか。

それではご意見等ございますか。

○委員

先ほど選定委員長の話でもありましたが、日本文教出版の12、13ページでは、歴史的な見方・考え方として「時系列」、「比較」、「推移」、「つながり」といった4つの項目が提示されています。このように最初に学び方のポイントが示されているのがとてもよいと感じました。

○教育長

選定委員長の説明にもありましたが、歴史的な見方・考え方は歴史を教える上で一番重要なポイントでありますね。他にご意見ございますか。

○委員

日本文教出版はどのページでも毎授業時間の初めに「学習課題」のコーナーで課題の提示がありますが、歴史的な見方・考え方に関連付けられています。また、最後の毎授業時間の終わりには「深めよう」のコーナーがあり、生徒に考えさせるようなコーナーもあります。このように学習の流れが毎時間できていて、生徒にとって非常に取り組みやすい構成になっているのではないかと思います。

○教育長

学習の流れが非常に生徒にとって取り組みやすいというご意見でした。取り組みやすいという点で、他にご意見ございますか。

○委員

取り組みやすさという点では、帝国書院も巻頭の4、5ページで学習の見通しや振り返りの流れが示されていて、生徒が歴史の学習に取り組んでいきやすくなっていると思います。主体的な学びにつながっていくのではないかと考えます。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

同じような所で見ますと、私は育鵬社のレイアウトは統一性があるって生徒が取り組みやすいのではないかと思います。20ページですが、各章の初めに掲載されているような歴史絵巻などは興味関心を持たせるのに非常によいかと思います。

○教育長

興味関心のある資料ということでご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

教育出版の冒頭には、「歴史の流れをとらえよう」「歴史すごろくにチャレンジしよう」というコーナーがあり、小学校で学習したこととつなげながら、人物を通して歴史の流れがわかりやすく確認できてよいと思います。

○教育長

今度は小学校との関連というようなことも付け加えてご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

私は大宰府の大野城に注目してみました。東京書籍は38ページ、教育出版は42ページ、帝国書院は38ページ、山川出版社は38ページ、日本文教出版は42

ページ、育鵬社は48ページで、全て大野城のイラストを各社とも掲載しているのですが、見比べてみますと、日本文教出版の大野城のイラストが、私にとっては非常に見やすく、よいと思いました。イラストと写真のバランス、レイアウトを見てもとても見やすく、生徒にもわかりやすくなっているのではないかと感じています。

○教育長

全ての教科書それぞれに特色がありますが、全社見比べていただいて、委員は日本文教出版がとても見やすいというご意見をいただきました。みなさん、見やすくわかりやすい工夫、それぞれどのように感じられておりますでしょうか。

○委員

それぞれ工夫されていると思いますが、まとめに関して言えば、山川出版のまとめは記述が多く、書く力をつけさせるには適していると思います。教科書全体を見ても情報量が実に豊富ですし、より専門的なアプローチができるような印象があります。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

その点でいうと、日本文教出版は104ページに「学習の整理と活用」で年表、地図、表を使い、穴埋めと記述のバランスもよいので、効果的なまとめと振り返りができるのではないかと思います。

また、観点は変わりますが、日本文教出版は唯一百舌鳥・古市古墳群の記述の中で、古市古墳群や藤井寺市の取扱いがあります。これは地域に適した教材という点でも重要ですし、生徒の親しみやすさという点でも非常に評価すべき点なのではないかと思います。ページでいうと、32ページですがどうでしょうか。

○教育長

効果的なまとめというご意見を続けていただいておりますが、新たな観点から地元を取り上げていて親しみやすいというご意見を付け足していただきました。

他にご意見はございませんか。

社会科の歴史的分野についてもいろいろな角度で沢山ご意見の聞かせていただきました。藤井寺市の子どもたちにふさわしい教科書を採択するにあたって、今までのご意見ですと、生徒にとって学習に取り組みやすく、歴史に親しむことのできる教科書という観点で議論をしていただいたと思います。他にご意見ございますか。

もし他に意見がないようでしたら、採決に移ってよろしいでしょうか。

○教育長

他にご意見はございませんか。では、採決をとります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍0人、教育出版0人、帝国書院2人、山川出版0人、

日本文教出版3人、育鵬社0人

○教育長

日本文教出版が3名挙手されていますので、採決の結果、社会（歴史的分野）は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、社会（公民的分野）の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

社会（公民的分野）の採択候補図書6社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「組織・配列」、「創意工夫」に特色がございます。各章の終結部にはランキング、マトリックス、ウェビング、座標軸、ステップチャートなど、多彩な思考ツールが提示されており、思考を整理し、深い学びにつながるような工夫がなされております。

次に、教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「内容の程度」、「発展的な学習」に特色がございます。2種類の特設ページ、「言葉で伝え合おう」では様々な表現活動を行い、「読んで深く考えよう」では資料を読み深める活動を中心に、社会の今日的なテーマにせまることができるようになっており、本時の学習と無理なく関連を図りながら、活用できるようになっております。このような理由から、選定委員会は教育出版を推薦しております。

次に帝国書院でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「創意工夫」に特色がございます。コラム「未来に向けて」の中で、これからの社会が直面する課題を考える際の参考になる取り組みを紹介しており、その中でも人権的課題について6つの項目を取り上げておられます。このような理由から、選定委員会は帝国書院を推薦しております。

次に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」、「創意工夫」に特色がございます。特設ページ、情報スキルアップでは統計資料やグラフの取扱いのほか、情報リテラシーや情報モラル、メディアリテラシーについて学習することができ、現代の情報化社会の中で生きる力を身につけることができるように工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

次に自由社でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「創意工夫」、「発展的な学習」に特色がございます。「アクティブに深めよう」というコーナーが各章に配され、グループによる話し合い活動を中心に体験的に学びを深める工夫がなされております。

最後に育鵬社でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「創意工夫」、「発展的な学習」に特色がございます。「スキルアップ」というコーナーが7か所設

けられており、ロールプレイング、ディベート、KJ法などの手法を通じて公民の基礎的スキルが身につけられるように配慮がなされております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、社会（公民的分野）の審議をお願いします。何かご意見等ございますか。

○委員

公民的分野に関わり、選定委員会で中心的な話題になっていたのはどのようなことでしょうか。

○選定委員長

選定委員会では、公民的分野の学習でどのような力を身につけさせたいか、そのために効果的な教科書はどれか、ということが議論の柱になっていました。生徒たちに身につけさせたい力として、具体的には対話的な問題解決能力、情報モラルやメディアリテラシーなどが話題になっておりました。

○教育長

公民的分野の学習内容においては、大きな柱としてディベートなどの対話を通じた問題解決能力の育成のために適した題材がたくさん載っていますね。

では、公民的分野の学習を通して、子ども達に身につけさせたい力という観点でご意見をいただけますか。

○委員

多くの教科書で、まず、最初にSDGsについて触れています。これから我々が向き合っていかなければならない課題について最初に示すことで、公民の学習を進める意義が深まると思います。

特に日本文教出版の見開き2、3ページを見てください。SDGsのマークと合わせて写真を数多く使い、より視覚的なアプローチをされていて非常にわかりやすくなっています。関連した補助的な教材も多く、私としてはSDGsの考え方を子ども達に身につけさせたいし深い学びにつながると思います。

○教育長

SDGs（持続可能な開発能力）持続可能な世界を目指してリードして貢献していく子どもを育てていかなければならないということで、大きな課題だと思います。他にご意見ございますか。

○委員

子ども達に身につけさせたい力ということでしたら、私も日本文教出版の「情報スキルアップ」はとても効果的だと思います。例えば、86ページを見ていただきますと、新聞の読み方と伝え方を学ぼう、というところでは新聞の比較などを通して、情報を選ぶ力を育てることができると思います。子ども達が新聞を読む機会が

減っている今、このような学習はとても大切ではないでしょうか。

○教育長

選定委員会でも柱になっていたと思いますが、メディアリテラシーや情報スキルということでご意見をいただきました。私は公民で正しい情報を見分ける力の基礎を身に付けてもらいたいと思います。新聞を読み比べるという活動は、例えば、自由社94、95ページの「アクティブに深めよう」というコーナーで「新聞を読み比べてみよう」という活動があります。新聞を比較して話し合うという活動は公民的分野においては適していると思います。そういった意味で対話的な学習ということで教科書を見ていただいて、他にご意見ございますか。

○委員

教育出版をご覧ください。31ページ。話し合うという活動、公民の技というコーナーも、グループで話し合う活動をするのに向いていると思います。31ページなどでは新たなごみ収集所の設置場所について話し合う活動があります。社会のルールについて考えるとともに話し合う力を身につけるには一番最適ではないでしょうか。

○教育長

話し合う力ということでまとめていただきました。他にご意見ございますか。

○委員

話し合いなどの活動にはまず、考えを整理するということが必要です。東京書籍の32ページなどでは、自分の考えを整理するための思考ツールが用意されています。話し合う力と合わせて、自分の考えを整理する力も身に付けていく必要があると思います。

○教育長

対話的な学習を進めるための思考ツールですということですね。この点でいうと、育鵬社の「スキルアップ」ではKJ法やランキングなどの思考ツールが取り上げられていますし、帝国書院の教科書でも、ロールプレイングやディベート、KJ法が取り上げられています。帝国書院の164ページでは、赤字路線バスに税金を使うべきかというテーマを取り上げたディスカッションがあります。このような基礎的な技能は学習活動の中核で使っていくべきものだと思います。他にご意見ございますか。

○委員

考えるという活動に関していえば、帝国書院の「アクティブ公民」ではなかなか面白いアプローチをしていると思います。111ページをご覧ください。少し遊び心があり、「アクティブ公民」では無人島に漂着したらというテーマで現代社会の生活場面に置き換える活動なので、生徒たちは興味を持って取りあげてくれて活動的な意見がたくさん出てくるのではないかと感じました。

○教育長

とても興味があるテーマですね。考えるための題材のテーマということでご意見をいただいておりますが、他にご意見ございますか。

○委員

日本文教出版の「明日に向かって」というコーナーも、社会参画について考えさせる点でよいテーマを取り扱っていると思います。選挙権のことなど主権者教育と絡めたテーマだと思いますし、子ども達にぜひ考えてもらいたいと思います。

○教育長

本当に子どもたちにぜひ考えてもらいたいですね。他にご意見ございますか。

○委員

社会参画というところでは、同じ日本文教出版の裁判員制度を取り扱った活動が具体的でとてもわかりやすいと感じました。字は細かいのですが、配置や流れなどがとても見やすく理解しやすいと思います。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

今、委員からお話があったように、私も日本文教出版の「明日に向かって」のコラムはとても興味深く読むことができました。東京オリンピックやパラリンピックなどの話題もありますし、まちづくりなどの地域に密着した話題などは生活につながりがあって生徒たちも興味を持ちやすいのではないかなと思いました。また、全体的に文字も見やすく、写真、イラストのバランスもよくて使いやすい教科書だと感じました。この目次のページで、コラムやアクティビティ用の目次が別にあるのもいいですね。

○教育長

興味を持つ、見やすい、使いやすいなど、教科書の機能的な部分にもふれていただいております。他にご意見ございますか。ございませんか。

いろんな幅広いご意見をいただきました。特に、公民的分野において、生徒に身につけさせたい力として議論いただきました。各社とも、様々な考え、話し合う活動が用意されているということでしたが、より藤井寺の子ども達が主体的に考え、生きる力を身につけていくのに効果的な教科書を選びたいものです。

もし、他に意見がないようでしたら、採決に移りたいと思います。

○教育長

他に意見はありませんか。では、採決をとります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 0 人、教育出版 1 人、帝国書院 1 人、
日本文教出版 3 人、自由社 0 人、育鵬社 0 人

○教育長

日本文教出版が3名挙手されていますので、採決の結果、社会（公民的分野）は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、地図の教科用図書採択を行います。
採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

地図の採択候補図書2社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされ、特に組織・配列、発展的な学習に特色がございます。世界の各州、日本の各地方には地域の概観に役立つ、自然・産業・人口などの主題図を基本資料の形で設け、基礎的・基本的な知識を確実に習得できるようなされています。

また、日本の一般図は、標高と地形区分などによって色分けされた100万分の1地勢図を、中国・四国地方を分けた8地方区分で掲載されており、地形の特色を捉えやすくしたり、すべての政令指定都市を網羅した50万分の1拡大図に土地利用を示したりすることで、日本全体の姿を捉えやすくされています。

次に帝国書院でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に人権の取扱い、内容の程度、独自項目に特色がございます。色覚特性のある生徒にも地図や資料が読み取りやすいように、ユニバーサルデザインフォントを使用し、国名・都道府県名などの重要地名には、白色で縁取りをされています。国や都道府県ごとに塗り分ける色はカラーユニバーサルデザインに配慮し、色数が多くなる場合には背景に地紋を入れるなどの色の識別をしやすくする工夫がされています。

また、日本各地域資料図には防災マークがついた資料図が多数掲載されるよう配慮がなされています。また、日本の自然災害・防災の特設ページが設けられ、日本で起こりうる災害とそれらへの対応が理解できるように工夫がなされています。このような理由から、選定委員会は帝国書院を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、地図の審議をお願いします。何かご意見等ございますか。

○委員

地図は様々な教科でも活用するということから、やはり見やすさは大事かと考えます。帝国書院の地図帳は文字も読みやすく、色使いも目に優しいのでとても見やすいと感じます。

○教育長

地図の場合、見やすさが一番大切だというご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

確かに帝国書院の地図は大きくて見やすいと思います。

東京書籍は情報量が多いですね。情報量は地図の大事な要素であると思います。

○教育長

見やすさに付け加えて情報量も大切だというご意見でした。他にご意見ございますか。

○委員

情報ということでは帝国書院の地図帳も着目する点があります。例えば、163、164ページをご覧ください。日本の各地域の生活文化、街なみやまつりなどが示されていてわかりやすく、郷土への愛着がわくようになっていると思いました。

○教育長

郷土への愛着がわくような工夫がされているというご意見でした。他にご意見ございますか。

○委員

東京書籍の情報量は非常に優れていると思います。お国自慢の一覧には実に関心を持ちました。自分の住んでいる都道府県の特徴が一目でわかりやすいです。例えば110ページをご覧ください。あべのハルカスの写真があったりして親しみを感じています。

○教育長

情報量等、様々なご意見をいただいております。見やすさ、情報量等で議論をいただいておりますが、他にご意見ございますか。

○委員

やはり帝国書院がサイズも大きく見やすくいいのではないのでしょうか。

見やすいだけでなく、帝国書院は近畿地方、とりわけ101ページでは大阪府の取扱いも大きくなっています。藤井寺の子ども達が授業で活用していくにはふさわしいのではないかと考えます。

○教育長

確かに101、102ページの地図は大阪府の地図が大きく示されています。大阪府の取扱いが詳細であることは、地元ですので重要なポイントであると思います。また、藤井寺市の古墳の属している古市古墳群の表記もあり、本市としては注目すべき点だと思います。他の観点ではどうでしょうか。

○委員

今日的な課題である防災教育という観点で言うと、帝国書院は防災マークがついた資料が数多く示されていて、授業の中で各地の自然災害・防災について学んでいくことができると思います。先ほど教育長も話されました、101ページで大阪府を中心とした地図ですけれども、左下の地図活用のコーナーの中の防災マークで、大阪の安治川や木津川を例に防災について考える活動があります。

○教育長

先ほど、社会の地理的分野でも少しお話が出ましたが、今年、九州地方で大変な水害が起こっていることを考えると、防災教育は今まさに取り組むべき教育であると言えますね。他の教科書でもたくさんこれから出てくるような課題であると思います。

○教育長

他に意見はないでしょうか。よろしいでしょうか。地図につきましては、見やすさ、情報量、地元地域の扱い方、防災の観点、このようご意見をいただきました。他にご意見がないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 1 人、帝国書院 4 人

○教育長

帝国書院に 4 名挙手されていますので、採決の結果、地図は、帝国書院株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、数学の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

数学の採択候補図書 7 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。例題と類似の問題には◆マーク（ピンクのダイヤモンド）を入れ、例題から練習問題、単元末の基本問題、巻末の補充問題と連動させながら学習できるよう工夫がなされております。

次に大日本図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。練習問題が難易度別に十分な量が掲載されており、各ページにある「問い」のすぐ横に発展問題を掲載するなど、習熟度学習にも対応しやすくなっております。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

次に学校図書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。単元末において、「役立つ数学」を適宜掲載し、有名な数学者を多く取り上げるなど、数学に対して興味がある生徒にとって面白いコラムが揃っております。

次に教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。各章に入る前に、その章で活用する既習事項をふり返る問題が設定されており、学習前に必要な知識・技能を確認してから導入できるよう工夫がなされております。

次に啓林館でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。各章や節の導入に力を入れており、生徒が考えたくなる課題設定がなされております。

また、巻末にある「自分から学ぼう編」は、算数のつまずき復習から高校への入試問題まで様々な種類の問題を掲載しております。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

次に数研出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。各章の練習問題の構成が「問題A」「問題B」「高校発展」「チャレンジ問題」とレベルに分けて配置されており、問題数も豊富に取りそろえておられます。また、別冊ノートがあり、教科書の発展問題や身近な数学問題を取り扱っています。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

最後に、日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特徴がございます。章の扉では、操作的な活動を通じて、自ら発見的に課題を解決することができるように配慮がなされております。また、学習のベースを作りやすくし、その解説が計算問題を含めて、丁寧に示されております。このような理由から、選定委員会で推薦されております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、数学科の審議をお願いします。

○委員

私はやはり「導入」の題材に注目したいです。大日本図書2年12ページでは、運動会の「リレートラック」を題材にしており、アウトコースのスタート位置をどこにすることで、全員が同じ距離になるのかを考えることができます。こういった生徒にとって、身近な題材を多く導入に使っている大日本図書はいいなと感じました。

○教育長

導入に注目していただきました。導入について、他にご意見ございますか。

○委員

私も各章のスタートに注目しました。どの会社も生徒が興味を示すように工夫しており、自分の考えや問題、答えを周りの友だちと確認したくなるような課題が取り上げられていたと思います。さらに、その章で活用する内容を事前に復習できる

よう振り返り問題が設定され、力を入れているのは、日本文教出版と教育出版かなと思います。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

学校図書と数研出版にも振り返りが各章に入る前に設定されています。問題形式ではないのですが、みんなで確認してから、その章に入っていくことができるようになっていると思います。

○教育長

導入について各社の工夫がみられますね。やはり、章の導入の課題に生徒が面白そうだなと考えたくなるような題材を扱うことは大切な観点ですね。導入の部分について、更にご意見はありませんか。

○委員

私は、日本文教出版が、表紙の裏のイラストが伝統工芸やらせん階段を載せていて、図形を学ぶ導入としては、興味・関心を持って学習に取り組んでくれるのではないかと思いました。

○教育長

導入でいろいろご意見をいただきました。少し視点を絞ったお話になりますが、今回の数学の学習指導要領改訂で「データの活用」が注目すべきポイントになります。その導入について見たときに、啓林館は、非常にこだわりがあり興味深く見させていただきました。1年214ページでは、コンサートの紙吹雪の紙の大きさをもとに落下時間をデータとして考えさせる問題で、生徒が体験的・実験的に取り組むことができるようになっています。他にご意見ございますか。

○委員

学校図書も1年232ページ。「データの活用」というところで「ルーラーキャッチ」という題材を取り扱っています。「定規を落としてどれぐらいの速さでキャッチできるか」というゲーム感覚で生徒たちが体験しながらスタートできるような問題を入れています。私自身、どれぐらいで反応できるのかと興味が湧いてきました。生徒も同じように興味・関心をもってデータの授業に取り組んでくれるのではないかなと感じました。

○教育長

皆さんも若い頃にこういった遊びをされたと思いますが、面白い題材なので生徒たちも興味・関心をもって授業ができそうですね。他にご意見ございますか。

○委員

私も同じように「データの活用」に注目して調べてみました。学校図書、啓林館

も面白い題材ですが、大日本図書で扱っている導入も非常に興味深いものです。1年238、239ページでは、10cmの長さの感覚の正確さを、実際に定規を使わずに感覚でテープを切って調べる実験を取り上げ、自分たちで体験しながらデータを集め、そういった生のデータをもとに考えていけるところが非常に主体的な学びになるのではないかと思います。

○教育長

各教科書会社もいろいろな工夫をされていて興味深いと思いました。少し話が変わりますが、数研出版は、問題の難易度の種類だけでなく、問題数も多いため、自らの進度に合わせた学習、自学自習にもつながるのではないかと感じました。また、どの会社も主体的・対話的で深い学びを意識していると思いますが、数研出版は唯一、別冊を採用しており、教科書の発展問題や身近な数学問題を扱っています。この別冊について、選定委員会で意見は出ていましたか。

○選定委員長

選定委員会において、数研出版の別冊については、毎回使用するものではないので、生徒による紛失などの可能性が懸念されるとの意見が出ておりました。一方で、この探究ノートにそのまま書き込むことができるという利点もあり、活用の際は教員から配布し、終了時に回収すればよいのではないかという意見もありました。

○教育長

別冊が故の使いにくさ、及び利点の意見が相まって出てくると思います。他にご意見ございますか。

○委員

私は、基礎基本のしっかりとした学力をつけるためには、細かな点での配慮が必要だと思います。東京書籍は、見出しにテーマが示してあり、例題と同じような問題には、ピンクのダイヤモンドマークが付けられていて、生徒だけでなく、先生にとっても指導しやすいのではないかと思います。

○教育長

生徒だけでなく教員も扱いやすいのではないかという細やかな配慮がなされているというご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

啓林館は、少し難しい問題が多いのかなと思いました。でも、その後の解説が丁寧で、ポイントをしっかりおさえていると感じました。大日本図書は、例題のあとの練習問題で、後ろのページにいかなくても、すぐ横にプラスワンという発展問題がどのページにもあります。早くできてしまった生徒には次の問題に移って考えやすいので、流れがいいのではないかなと思いました。

○教育長

このあたりも大きな課題だと思います。進路につながる子ども達が少し出てくる

と思いうので、一人一人の進み方にどう合わせていくのかというところが大きな課題であり、それに対応できている教科書になっていると思います。非常に大きな観点かと思えます。他にご意見ございますか。

○委員

同じ大日本図書1年65ページを見てください。「社会のリンク」の「発見！仕事のなかの数学」では、キャリア教育と関連させパイロットを紹介しているのですが、そこで紹介されている方が女性なのです。これまで男性が多かった職業に対して、配慮できているのもいいと感じました。

○教育長

他の教科でもキャリア教育がいろいろ出ていますが、数学の教科書でも出ているのが人権的にも細やかな配慮ができていると思います。他にご意見はないでしょうか。導入の工夫、データの活用、主体的・対話的で深い学び、個や進路に応じた学び等、問題等の扱い方がどうなっているのかといった様々なご意見をいただきましたが、他にご意見はありませんか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍0人、大日本図書4人、学校図書0人、教育出版0人
啓林館1人、数研出版0人、日本文教0人

○教育長

大日本図書に4名挙手されていますので、採決の結果、数学は、大日本図書株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

会議の途中ですが昼休み近くになりましたので、ここで昼の休憩を取りたいと思います。再開時刻は12時45分より理科の審議から再開したいと思います。

休憩のため、委員会休会を宣する。

午前11時56分

委員会開会を宣して会議に入る。

午後12時45分

○教育長

それでは、休憩前に戻りまして、会議を再開させていただきます。続きまして、理科の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

理科の採択候補図書5社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「内容の程度」、「創意工夫」に特色がございます。観察・実験手順などが縦一列の配置によることで手順を確認しやいように配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に大日本図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「発展的な学習」に特色がございます。巻頭や「Professional」では、理科に関連した職業を取り上げ、生徒の興味・関心を高め学習意欲を喚起するよう配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は大日本図書を推薦しております。

次に学校図書でございますが、特に「内容の程度」、「組織・配列」に特色がございます。自学自習用の基本問題が多く準備され、「Can-Do-List」内のQRコードから確認できるように配慮がなされております。

次に教育出版でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「内容の程度」に特色がございます。「疑問を見つける」「課題を決める」「仮説を立てる」「計画を立てる」「観察する・実験する」「考察する」「結論を示す」の順で展開がなされ、生徒が見通しを持って学習に取り組むことができる工夫がなされております。

最後に啓林館でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「内容の程度」、「創意工夫」に特色がございます。「話し合ってみよう」の項目が全学年計54箇所設定されており、自分の考えを提案・発表したり、他者とコミュニケーションしたりする活動について、十分配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は啓林館を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは委員の方々、理科の審議をお願いします。

○委員

理科では実験を行うので、安全面について、子どもたちにわかりやすく指導できることが大切だと思います。教育出版では、絶対にしてはいけないことには「禁止」のマーク、特に注意することには「注意」のマークがあり、安全面についてきっちり指導できると感じます。

○教育長

実験において安全第一ということで「禁止」や「注意」といった安全喚起を行っている工夫がなされているということです。他にご意見ございますか。

○委員

大日本図書も1年生のはじめのページ「理科室の決まり」で、実験の心構えなど安全に対して注意喚起を行っており、特に火を扱うときの注意について大きく取り

上げていることは、子どもの安全面において、非常に配慮されているなど感じました。

○教育長

中学生の実験ですと、火を扱うことが怪我につながるので、注意喚起を行っているということです。他にご意見ございますか。

○委員

視点は変わりますが、私は何より学習に入る生徒たちの興味関心が大切であると思います。その点でいうと、1年生で学ぶセキツイ動物を扱う箇所では、東京書籍のP48、学校図書のP48、啓林館のP40でカラフルな写真を使用しており、東京書籍と啓林館は写真も大きく、より子どもの興味を引き付けられるものになっていると思います。

○教育長

3社で同じ内容を見比べた結果、導入時の写真資料による興味関心という点での工夫についてご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

確かにとても印象的な写真ですね。私もその観点で各社の教科書を見比べたのですが、大日本図書は、例えば1年生P137の单元扉でダイナミックな写真やイラストを使用しており、私が見ていてもわくわくします。生徒の興味関心を非常に高める工夫がされていると感じました。

○教育長

今2人の委員さんにお話しいただきました。確かにどの教科書会社も生徒たちの興味を引き付けるような工夫がなされており、理科離れが課題になっている中、理科に興味が少ない子たちにとってはそういう工夫も大きなポイントだとは思いますが、子どもたちの主体的な学びが実現できるという視点で見ていくことも大事だと思いますが、委員のみなさんどうですか。

○委員

教育長のおっしゃる通り、子どもたちによる主体的な学びに配慮されているかということも大切にしたいです。啓林館では各単元に設定された「探Q実験」において、仮説や計画などを生徒自身で考えるよう工夫がされています。また、探求の流れも1ページで表しており、見通しや振り返りがしやすくなっていることも、生徒の主体的な学びにつながるのではないのでしょうか。

○教育長

私から主体的な学びという視点で方向性をお話しさせていただきましたが、委員からも理科的な見方や考え方をを使って探究的な学習ということでご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

教育出版では、例えば1年生のP 2 2 7など、「やってみよう」という疑問につなげる活動を単元のはじめに設定し、子どもたちの主体的な学びを促しているように思います。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

私もその視点で教科書を見たのですが、大日本図書では単元末に学習した内容に関する資料を載せるなど、全体的に資料が充実しているように感じます。生徒の興味関心を高めながら主体的に学べるような配慮を感じます。

○教育長

資料の扱い方についてもご意見をいただきました。その点で、図解的な資料を少し見比べていただきたいのですが、東京書籍のP 8 7、教育出版のP 8 5、啓林館のP 1 3 2の3社は、3年生でのガスバーナーの使い方を取り扱っているページです。ガスバーナーの内部が見えるようになっており、空気やガスの流れもわかりやすい図になっています。子どもたちにとっては説明が丁寧にされている教科書のほうが科学的な理解がすすみ、主体的な学びにつながるのではないのでしょうか。

○委員

丁寧な説明という観点だと、大日本図書では1年P 4 5を見ていただきますと、「思い出そう」というコーナーにおいて、小学校で学んだ内容を振り返るよう配慮されています。そういったコーナーがたくさん出てきます。他の会社でも同じようなことはされていますが、私は大日本図書が一番みやすく丁寧だと感じました。

○教育長

小学校からのつながりも含めて工夫されているとお話をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

啓林館は1年のP 7、8「お料理ラボ」や「部活ラボ」などで、生徒の興味関心がある話題を多く取り上げ、理科という教科を身近に感じられる配慮がされており、生徒たちの学習意欲につながるのではないかと思いました。

○教育長

身近に感じられる配慮ということでお話をいただきました。他に、いろんな観点からご意見はないのでしょうか。まず、理科の安全な実験、丁寧な説明というご意見をいただきながら、今いろんな観点でおはなしをいただきました。他にご意見がないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 0 人、大日本図書 2 人、学校図書 0 人、
教育出版 0 人、啓林館 3 人

○教育長

啓林館が 3 名挙手されていますので、採決の結果、理科は、株式会社振興出版社
啓林館を採択いたします。よろしいでしょうか

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、音楽（一般）の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等につ
いて、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

音楽（一般）の採択候補図書 2 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、「目標・内容の
取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。イラストや写真に迫力があり、資料や情
報量が豊富に掲載されております。また、QRコード「まなびリンク」が最初の目
次欄に設定されており、多くのコンテンツを確認することができます。

次に教育芸術社でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目
標・内容の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。イラストや写真が効果的に
使われており、苦手な生徒にとっても取り組みやすいように曲想の変化を対話的に考
えることができるように工夫がなされております。このような理由から、選定委員
会は教育芸術社を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、音楽（一般）の審議をお願いします。

○委員

先ほどの説明にもありましたが、教育出版は、インパクトのある大きな写真が多
く、引きつけられ、資料や情報量も多く、音楽に興味がある子どもたちにとっては
面白い教科書だと思います。しかし、資料や情報量が多いと音楽が苦手な子ども達
にとっては、ちょっとしんどくなるかもしれないかなと感じました。

○教育長

音楽の好きな子、苦手な子、両方の立場から教科書を見ていきましょうというご
意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

私も同じような印象を受けました。教育出版は、参考書のようなイメージで、音
楽が好きな生徒にとっては、とても興味深いものだと思います。教育芸術社は、ポ

イントをしぼって、教えやすそうな教科書だと思いました。

そのように感じた理由の1つは、生徒にとって身近で聞いたことのある楽曲を多く選曲しているのかなと思います。具体的には、1年68ページ「涙そうそう」、「上を向いて歩こう」など、生徒にとって聞いたことのあるポピュラーな音楽を意識していると思います。

○教育長

音楽科の好き嫌いが現実には生徒の間で出てくると思います。そのあたりを配慮し、どの生徒も音楽が好きになれるように取り組んでいかなければなりませんね。生徒にとって身近な楽曲が多いことで、教えやすそうな教科書だと感じられたというご意見でした。他にご意見ございますか。

○委員

教育芸術社の2・3年上で「やさしさに包まれたなら」というユーミンを取り扱っていますね。生徒にとってなじみのある曲があり、合唱が楽しくなるように工夫されているように思います。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

私は「君が代」の取扱いに注目しました。どちらの会社も1番うしろに「君が代」が掲載されていますが、教育出版は、どの学年もさざれ石の解説が掲載されているのですが、教育芸術社は、オリンピックやラグビーワールドカップ等の写真を掲載し、国際理解の観点も意識しているように感じました。これから国際社会の中で生活していく子どもたちには、教育芸術社の方がいいアプローチをしていると感じました。

○教育長

「君が代」の扱いについても、2社見比べてご意見をいただきました。今までの観点とは違いますが、GIGAスクール構想で、これから1人1台のパソコン端末が導入されると、実技科目のQRコードの取扱いについて、選定委員会で具体的な話は出ましたか。

○選定委員長

QRコードの特徴としては、教育出版は「まなびリンク」を目次欄に掲載し、「見る・聴く・記録する」の情報をWebで見ることが可能です。教育芸術社は、それぞれのページにQRコードが掲載されており、選定委員会でも各ページにタイムリーに掲載している方が使いやすいのではないかといった意見がありました。

○教育長

ありがとうございました。他にご意見はありませんか。

○委員

私は民謡の取扱いで、教育芸術社が丁寧で良かったと思います。子どもにとって民謡は身近ではないので、資料説明に写真をたくさん掲載し、分かりやすく示してくれていると思いました。

○教育長

今の子どもにとって民謡は身近ではありませんが、大切な日本の文化ですし、そのあたりを資料として写真等を使ってわかりやすく示していただいたということです。他にご意見ございますか。

○委員

ボレロの取扱いも、教育芸術社が丁寧でした。2・3年下38ページをご覧ください。演奏で活用している楽器の解説についてもイラストを含めて説明するなど、工夫がなされていると思います。

○教育長

他に意見はないでしょうか。採択候補が2社なので、見比べながらさまざまなご意見をいただきました。他にご意見がないようでしたら、採決を取りたいと思います。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

教育出版0人、教育芸術社5人、

○教育長

教育芸術社が5名挙手されていますので、採決の結果、音楽（一般）は、株式会社教育芸術社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、音楽（器楽合奏）の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

音楽（器楽合奏）の採択候補図書2社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。「何が同じで、何が違う」では、それぞれの文化の違いからくる音楽の共通性と固有性を「吹く楽器」、「弾く楽器」の2教材で考えられるように工夫がなされております。

次に教育芸術社でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。表現や鑑賞の活動において、「深めよう！音楽」を定期的に取り上げ、生徒同士で対話的に学びが進められるように工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は教育芸術社を推

薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、音楽（器楽合奏）の審議をお願いします。

○委員

私はリコーダーとギターの取扱いについて注目したのですが、教育芸術社の18ページでは、リコーダーの姿勢と構え方の写真について正面と横からのものを掲載し、ポイントをしっかりおさえているように思いました。34ページのギターの種類についても分かりやすく示され、著名な奏者を紹介するなどの音楽が好きな子どもにとっては興味を引くと思います。

○教育長

リコーダーとギターで基本的な姿勢をしっかりおさえていて、音楽好きな子どもにいい教科書だというご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

私は、器楽の教科書は教育出版も教育芸術社も非常にしっかりと作られているなと感じました。楽器ごとに順序立てて示され、写真やイラストを効果的に活用し、生徒にとっても分かりやすくなるように工夫されていると思います。

先ほどの音楽（一般）と器楽が異なる会社になることは問題ないのでしょうか。

○選定委員長

選定委員会の中でもそういった意見は出ておりました。取り扱っている題材や順番については大きな問題はないだろうといった意見はありましたが、QRコードやレイアウトの部分で考えると同じ会社の方がいいのではないかと、また生徒にとっても分かりやすいのではないかとといった意見がありました。

○教育長

2社での選定で、特に一般と器楽が別れており一緒に採択するわけではなく別々に採択するので、いろいろなご意見があると思いますが、本質的にはひとつひとつ考えていただいて、一番は子どもにとって使いやすいという視点で議論していただければいいかなと思います。

では最初の選定委員会での説明にもありましたが、教育出版の「何が同じで、何が違う」では、生徒たちが対話的に取り組むことができるように工夫されています。26ページ「吹く楽器」と52ページ「弾く楽器」を見ていただくと、音の出る仕組みや音色を比較しながら学習を進めることができます。また、すぐとなりのページには発展として、世界の楽器の紹介もしているところは、まとめの学習として工夫されているなと感じました。

○委員

教育芸術社についても「深めよう！音楽」を定期的に掲載されていて、子どもど

うしが対話的に深めることができるように工夫されています。11ページのアーティキュレーションの工夫では、奏法の種類を友だちと話し合いながら、2つのパートに分かれて演奏するなどの工夫がされています。75ページには、「小さな恋の歌」など生徒にとって人気のあるバンド「モンゴル800」の楽曲を紹介するなど、親しみやすいという流れは、器楽にもあるように思います。

○教育長

親しみやすいという観点は音楽（一般）で意見が出ていました。同じように（器楽合奏）でも大事な観点で、教育芸術社では意識して工夫をされているところですね。他に親しみやすい楽曲はありますか。

○委員

私も生徒にとってなじみのある楽曲を多く取り扱っているのは教育芸術社だと思います。80ページの笑点のテーマや魔女の宅急便、美女と野獣といった映画の音楽を扱っていて親しみを感じますね。

○教育長

他にご意見はないでしょうか。今2社比べてご意見をいただきましたが、ご意見がないようでしたら、採決を取りたいと思います。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

教育出版0人、教育芸術社5人

○教育長

教育芸術社が5名挙手されていますので、採決の結果、音楽（器楽合奏）は、株式会社教育芸術社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、美術の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

美術の採択候補図書3社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、開隆堂でございますが、バランスよく項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「発展的な学習」に特色がございます。その中でも、「知識及び技能」「思考力、判断力等」「学びに向かう力」の三つの柱を中心に、履修すべき内容が、わかりやすく記述され、生徒が主体的に活動できるよう導かれており、また題材毎に「学習のポイント」が提示され、生徒が造形的な視点を持って活動できるように、わかりやすく内容が工夫されています。

次に光村図書でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・

内容の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。その中でも、生徒が主体的に活動したり、鑑賞したくなるような仕掛けが随所にみられ、鑑賞における作品の掲載については、生徒が高い興味関心の中で作品に触れられるように、実物の作品に近い図版の大きさや紙質が工夫されております。このような理由から、選定委員会は光村図書を推薦しております。

次に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「内容の程度」「組織・配列」「創意工夫」に特色がございます。その中でも、写真と文章の割合が適切で、掲載されている作品も大きく取り上げられており、本物に近い色合い、原寸大で作品を味わうことで、生徒の興味関心を高め、鑑賞について深い学びができるよう工夫がなされております。

また、「作者の言葉」が各所で取り上げられており、作品から感じた思いや考えを伝え合うなど、見方や考え方を広げ、より作品に親しみを持つことで、授業の中で主体的な学習が展開できるよう工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、美術の審議をお願いします。

○委員

どの教科書にも言えるのですが、美術館へ行っているような感じが味わえて、やはり美術の教科書は見るだけで非常に楽しくなります。その中でも私は、日本文教出版、例えば、2・3年の上の教科書24、25ページ。浮世絵の学習なのですが、これを見開くと中からきれいな作品がパッと現れます。本物に近い色合いで、作品をじっくり味わえていいなと思いました。

○教育長

美術館へ行ったような感じで本物に近い迫力が味わえるという、そんな教科書だとすごく楽しく見ごたえがあると感じます。今のご意見に対して、他にご意見ございますか。

○委員

確かに、本物に近い形で作品の美しさを味わえるのは、とても大切なポイントだと私も思います。それでいうと、光村図書の工夫もいいなと思いました。こちらも2・3年の教科書です。37ページ。絵巻物を取り上げているのですが、触ってみると紙質が他と違います。さらにページをめくると、手塚治虫の漫画につながっていて、表現の歴史もあわせて、生徒にとって興味を引く工夫だと思います。

○教育長

お二人の委員から美術の教科書は見て楽しいというご意見でした。他にご意見ございますか。

○委員

私もやはり、美術の教科書は見ていだけで引きつけられるものがあるなあと思います。さらに私は、実際生徒が学習を進めていく上で、生徒自身が何を学ぶのかを自分たちでとらえることも大事だと思いました。その点で見ますと、まずは開隆堂。どの題材についても、まずは「学習の目標」が観点別に示され、「学習のポイント」で何を学習するのかを示しています。

同じように、日本文教出版。こちらにもまずは「学びの目標」が観点別にイラストで示されていて、「造形的な視点」で学習に向かうための問いかけが設定されています。これらの記載は、生徒の学習の手助けになるのではないかと思います。

○教育長

見て素晴らしい教科書なのですが、教科書である以上、学習をさせるという意味では主体的な学習のための工夫ということが本質的に議論されていく中身なのかと思います。そういった意味で委員からもご意見をいただきました。生徒自身が何を学び、何ができるようになるか、確かに新学習指導要領でも大切な観点ですね。その点でいうと、まずは光村図書は、どのページをめくっても出てくるのですが、「鑑賞」や「表現」というマークに、生徒が何をどう学ぶか意識しやすい問いかけがされていて、授業でも広がりを持ってそんな設定だと思いました。

あと、日本文教出版は、選定委員長の説明にもありました、「作者の言葉」、あらためてみると、生徒がより主体的に学習を進めていくことができる材料になるのではないかと思います。他にご意見ございますか。

○委員

今教育長がおっしゃいました、日本文教出版の「作者の言葉」、私も見ていて感じたのですけれども、その中で特にいいなと思った所があります。2・3年の下の教科書なのですが、8ページ。「今を生きる私へ」という題名、生徒自身が自分自身と向き合う学習なのだと思いますが、同じ世代の生徒の作品が掲載されていて、その作品に「作者の言葉」が添えられているのです。この言葉のおかげで、生徒はより深く、自分自身のことについて考えることができるのではないかと思います。

○教育長

他にご意見ございますか。いろいろとご意見を聞かせていただきました。やはり美術の教科書で大切なのは、鑑賞や表現活動の中で、創造する楽しさを感じたり、良さ・美しさを味わえたりできること、また、造形に関する感性を育み、その中で基礎的な資質をその中で伸ばせること、またそんな活動を支える教科書、そういった視点で見ていただけたらと思います。他に意見はないでしょうか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

開隆堂0人、光村図書1人、日本文教出版4人

○教育長

日本文教出版が4名挙手されていますので、採決の結果、美術は、日本文教出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

保健体育の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

保健体育の採択候補図書4社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「発展的な学習」に特色がございます。「見つける」「課題の解決」「活用する」「広げる」といった4つの構成になっており、生徒にとって学習の習慣がつけやすく、単元の達成がしやすいよう配慮がなされております。

次に大日本図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「内容の程度」、「創意工夫」に特色がございます。「トピックス」において、様々な課題に対する言葉の紹介やコラムを載せており、発展的な授業展開ができるよう工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は大日本図書を推薦しております。

次に大修館書店でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「独自項目」に特色がございます。各章をステップ1「課題をつかむ」、ステップ2「本文・資料」、ステップ3「学習のまとめ」の3ステップで構成をされており、学習の流れがわかりやすく配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は大修館書店を推薦しております。

最後に学研教育みらいでございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人權の取扱い」、「組織・配列」に特色がございます。どの教材についても、ページごとに、本文が左側、資料が右側に配置されており、生徒にとって見やすい構造になるよう配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は学研教育みらいを推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは委員の先生方、保健体育の審議をお願いします。

○委員

保健体育という教科は健康や安全、命の大切さなどを学ぶ教科だと思います。そういった観点でみると、大日本図書はあらゆる箇所でも配慮を感じます。例えば、P114、115を見てください。こちらでは熱中症のことを取り上げられているのですが、量だけでなく、内容もわかりやすく工夫がされていると思いました。

○教育長

今、委員から健康と安全という視点が出ましたが、この点について、みなさんご意見ございますか。

○委員

東京書籍ですが、巻末資料で運動やスポーツを行うときの注意がまとめてあり、体育の授業はもちろん、部活やスポーツなどでも活用できるのではないかと思います。

○教育長

巻末資料等で日常的なスポーツ等でも活用できるのではないかというご意見でした。他にご意見ございますか。

○委員

大修館書店はP 138で感染症予防について取り扱いがありますが、マスク着用の理由や咳エチケット、とっさのときの対処法などが載せてあります。コロナ禍の現状では、この配慮はとてもいいと感じました。

○教育長

まさに今、コロナ禍でのマスクということで、いろいろ話題になっていますが、今の状況に即対応できるということでいい教科書だということです。他にご意見ございますか。

○委員

私は心肺蘇生法の取り扱いについて各社の教科書を見比べたのですが、大日本図書P 107～108において一覧で大きく見られるようになっており、ページをめくることなく、実習もしやすい非常に見やすいものだと思います。

○教育長

実習で心肺蘇生法のことについてお話をいただきました。

少し話題が変わります。社会の地理や地図のときに防災の観点でご意見をいただきましたが、自然災害が多く発生しており、どのタイミングで避難行動をとるべきかや、自分の命をどのように守るかといった観点で、学研教育みらいのP 120を開けていただくと、防災教育についてでており、警戒レベルについて記載されており、どのように自分が避難行動をとればよいかについても触れられていて、今の時代に対応したものになっているのではないかと思います。他の視点で感じられたことはありますか。

○委員

私は、こころの健康についても各社がどう扱っているかというところに注目しています。学研教育みらいのP 62ではストレスの対処について記載されていますが、心身の状態をゴムボールに例えて表現しており、生徒たちにとってもわかりやすいと思います。

○教育長

こころの健康ということでご意見いただきましたが、この点について、他にご意見ございますか。

○委員

確かにこころの健康という視点で見るといいと思います。私は、大修館書店がP55でいじめを取り扱っており、著名人の体験談として載せているので生徒も読みやすいのではないのでしょうか。

○教育長

「いじめられている君へ 相談は格好悪くない」というタイトルで、内藤大助さんがメッセージを載せられていますね。

ここまで安全やこころの健康という観点で様々な意見をいただきました。どれもとても大切な視点だと思います。また、子どもたちが主体的な学びに移りやすいという点も大切な視点であると考えているのですが、その点で委員のみなさん、いかがでしょうか。

○委員

各教科書会社でそれぞれ工夫がされていますが、その中で大日本図書が最も配慮されていると感じました。たとえば、ページの構成についてですが、教科書のどこを開いても左ページに文章、右ページにたくさんの資料と統一されており、とても見やすく子どもたちの主体性につながりやすいのではないかと感じました。

○教育長

今のご意見についていかがですか。

○委員

そうですね。私もとても見やすいと思いました。また、大日本図書は、文節改行に工夫がされていて、単語の途中で改行することなく、読みやすいものになっています。第1学年だけではありますが、あまりこういった配慮までされている教科書は見たことがなく、特別支援教育の観点でもとてもよいと思いました。

○教育長

確かに、とても配慮されていると感じます。選定委員長からもありましたが、大日本図書がトピックスやコラムを多く取り入れており、子どもたちにとって興味深い話題を取り上げるなどの配慮を教科書として感じています。他にご意見はないのでしょうか。健康安全、命の大切さ、こころの健康、感染症等病の対応、防災、学習について等、大変幅広い視点でご意見をいただきました。他にご意見がないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍0人、大日本図書3人、大修館書店2人、学研教育みらい0人

○教育長

大日本図書が3名挙手されていますので、採決の結果、保健体育は、大日本図書株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、技術家庭（技術分野）の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

技術家庭（技術分野）の採択候補図書3社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍は、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「人権の取り扱い」、「組織・配列」に特色があります。写真やイラストを効果的に活用し、作業の流れやポイントを視覚的に理解しやすいように工夫がなされております。また、プログラミング学習の導入として、フローチャートを示すなどプログラミングの原理をイメージしやすいように工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に、教育図書は、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」、「組織・配列」に特色があります。写真を効果的に活用し、生徒にとって分かりやすくなるように工夫されています。また、別冊のハンドブックを用意することで、基礎的な技能を丁寧に解説し、全てのページにあるQRコードを確認できるよう工夫がなされております。

最後の開隆堂は、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」、「創意工夫」に特色があります。導入の際、本時の活動内容を具体的に示しています。「調べてみよう」、「話し合ってみよう」、「考えてみよう」を設定し、スムーズに学習ができます。また、情報セキュリティと情報モラルについて、具体的な事例を検討することで、対話的な学習ができるように工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は開隆堂を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、技術家庭（技術分野）の審議をお願いします。

○教育長

選定委員長からの説明にもありましたが、教育図書だけが別冊ハンドブックを採用していますが、選定委員会ではこういった議論がされていきましたか。

○選定委員長

今回の選定委員会でも、別冊については、生徒の紛失の懸念が意見として出ました。週に1回、または2週に1回の頻度でしか授業がないので、ハンドブックの管理が難しいのではないかとといった意見がありました。しかし、実習などで移動教室が多い技術科は、重たい教科書を持って行かなくていいというメリットもあるのではないかとという意見もありました。

○教育長

先ほども、他教科で別冊についてメリット・デメリットのお話がありましたね。他にご意見ございますか。

○委員

東京書籍は、写真やイラストが効果的に使われていると感じました。32、33ページの道具や機器の説明は写真を活用しています。釘の挿入された部分は写真では見えないのでイラストを効果的に挿入しています。また、6ページからのガイダンスのページでも写真やイラストを効果的に挿入され丁寧に説明されていて、多面的な視野で表されているところがいいなと思いました。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

確かに東京書籍の写真やイラストの使い方は分かりやすいと思いましたが、開隆堂も同じように取り扱いがあります。71ページ、のこぎりを使うところは、体全体の写真を角度を変えて載せて、目線や補助の仕方を分かりやすく示しているなと思いました。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

ちょっと話は変わりますが、東京書籍の「技術の匠」が定期的に掲載されているのが面白いと思います。キャリア教育を意識しているのだと思いますが、今学んでいる内容が社会でどうやって活用されているかを考えるにはもってこいだと思います。具体的に言うと、オリンピックの国立競技場に活用されている技術は、どの教科書にもありますが、82ページのパラリンピック、義足に活用されている技術、義肢装具士の話は興味深かったです。

○教育長

先ほども他の教科書でキャリア教育がでてきましたね。今の教育課題として大きな課題で教科横断的に、いろいろなことを考えさせる内容でした。また、そういった視点からご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

栽培カレンダーとか栽培ごよみが資料として掲載されていますが、それぞれの教科書会社ともに工夫していると思います。少し開隆堂の字が小さいのが気になりますが、子どもにとっては問題ないでしょう。教育図書は、別冊でこれを扱っているので、分かりやすいです。

○教育長

今、私から質問させていただいた別冊についてご意見をいただきました。

視点が少し変わりますが、QRコードの特徴は各社どのようになっていますか。あと、選定委員会で何か話は出ましたか。

○選定委員長

東京書籍は目次欄に一括掲載され、教育図書や開隆堂はページごとに掲載されています。実技教科ということもあり、QRコードの活用頻度は高くなるだろうという話は選定委員会で出ていましたが、どの教科書会社が特徴的という具体的なお話にはなりません。どちらかというと、情報分野やプログラミングに関する話題の方が多かったように思います。

○教育長

これから大きく取り上げられるであろう情報分野やプログラミングの単元で、何かご意見はありませんか。

○委員

情報の分野は、子どもにとって身近で興味深いものだと思います。各社それぞれ工夫がされているのですが、私は、開隆堂のワнтаイムパスワードの説明を取り上げているのがいいなと思いました。スマホでのトラブルに巻き込まれないように、ケース別に子どもたちで考えられるところも盛り上がるのではないかと感じました。

○教育長

中学生の生活の中でもスマホのトラブルは現実問題になっていますね。他にご意見ございますか。

○委員

東京書籍も情報モラルや著作権といった生徒がよく考えなければいけないところを具体的な事例を示して、考えられるようにしています。また、プログラミングにおいても問題解決のプロセスを大事にしています。218、219ページを開いていただけますでしょうか。プログラミングを体験しようでは、信号機のプログラムをフローチャートで示しています。課題発見、設計・計画、プログラミングの制作、改善・修正、新たな問題発見のプロセスが、具体例を含めて紹介されているのもいいと思います。

○教育長

プログラミング学習について、一連の流れがわかりやすいというご意見でした。他にご意見ございますか。

○委員

あまりプログラミングのことはよく分からないのですが、こういった問題解決は日常生活でもよく使われていますよね。そういった根本的な考え方のポイントをおさえているのはわかりやすいと思います。

○教育長

プログラミングについて、東京書籍の内容についてご意見をいただいておりますが、開隆堂でも208ページにプログラムの構造で、フローチャートを活用して、ポイントをおさえています。また、238ページからは、問題解決に向けた手順をキャラクターの吹き出しを使って上手に表現がされていると思います。他に別の観点からでも結構ですがご意見はないでしょうか。お話をまとめますと、技術等がわかりやすい写真やイラストの効果的な使い方、キャリア教育を意識した取組み、情報分野やプログラミング等ご意見をいただきました。ないようでしたら、採決を取りまします。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍3人、教育図書0人、開隆堂2人

○教育長

東京書籍が3名挙手されていますので、採決の結果、技術家庭（技術分野）は、東京書籍株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

技術家庭（家庭分野）の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

技術家庭（家庭分野）の採択候補図書3社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「内容の程度」、「発展的な学習」に特色がございます。高齢者とのかわり方で、手軽にできる介助の方法についてイラストを載せており、生徒の理解が深まるよう、十分配慮がなされております。

次に教育図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「内容の程度」、「組織・配列」に特色がございます。目標・内容の部分が「～考えよう」「～知る」「～しよう」「～調べよう」など生徒が実際に行うことを、大きく太字で書いてあり、生徒が何をするかわかりやすくなるよう、十分配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は教育図書を推薦しております。

最後に開隆堂でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」、「内容の程度」に特色がございます。各ページに載っているQRコードは、該当の動画や資料等に直接リンクをしているので扱いやすくなっています。このような理由から、選定委員会は開隆堂を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは委員の先生方、技術家庭（家庭分野）の審議をお願いします。

○委員

私は調理実習での使いやすさに注目して各教科書を見比べました。教育図書は手順が明確で問題解決がしやすくなっています。P 126、127をご覧くださいませ。ハンバーグステーキの調理手順が載っていますが、ポイントを押さえて簡潔に書かれています。また、アレンジレシピも示しており、自分の課題を設定するときのヒントになるのではないのでしょうか。

○教育長

調理実習で学習の流れがわかりやすい工夫というご意見でした。他にご意見ございますか。

○委員

同じレシピでいうと、開隆堂はP 118になるのですが、特徴的なのは、玉ねぎを炒めることやパン粉を混ぜる理由が説明されており、生徒自らどこに注意すべきかを理解し、主体的に調理を進めることができるのではないかと考えています。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

同じく開隆堂は、すべての調理実習例の材料について、27品目のアレルギー物質に対し黄色で示していて、子どもたちの安全面について、特に配慮されていると思います。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

違う視点ですが、東京書籍はメインの調理だけでなく、献立調理についても調理方法を紹介していて、実習時間に応じて活用できるのではないかと考えています。

○教育長

確かにどの教科書も、さまざま工夫をこらして、調理をメインにいろいろなご意見をいただきました。その中でも、先ほど委員が実習で見やすいということを含め「主体的に」というご発言をされましたが、子どもたちが自ら考え活動できるような家庭科学習ができる教科書というのは、大事なポイントだと思います。学習の観点からみて、さらにご意見ございますか。

○委員

開隆堂についてですが、目次のページにガイダンスが載っているのですが、全体の学習の内容を確認できて、3年間の学習イメージを持つことができることは、子どもたちの主体的な学びにつながるよい配慮ではないかなと感じます。

○教育長

他に学習の視点でご意見ございますか。

○委員

同じく開隆堂は、他にも单元ごとに学習の目標が書いてあり、生徒たち自身がその時間で何を学び、何ができるようになったらいいのかが一目でわかる工夫がされていて、目的意識をもって学習できると思います。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

先ほど選定委員長からの説明にもありましたが、教育図書は、単元のタイトルが「～を知ろう」や「～を調べよう」など生徒が実際に行うことを大きく太字で書いてあり、この時間で生徒自身がどんなことを学ぶのかを意識させるような工夫がされていて、主体的な学びにつながる配慮を感じました。

○教育長

様々な学習の視点でご意見をいただきました。主体的な学びの実現は、本市の教育課題の1番重要な課題でもあるので、それにふさわしい教科書を選ばれたらと思っております。他にご意見はございますか。

○委員

学習指導要領の目標にも書いてある衣食住の「衣」についてですが、教育図書のP164からP165。ここでは衣服の働きについて学ぶ单元があるのですが、イラストもわかりやすく工夫されていると感じました。また、TPOに合わせた衣服の例や制服の意味なども説明されていて、中学生にとって学ぶべき内容が入っていると思います。

○教育長

衣服の单元についてご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

私も衣服の单元についてですが、教育図書のP169、ゆかたの畳み方や結び方などが丁寧に説明されています。衣服とは離れますが、P151で大阪産の食材について触れているなど、教育図書は日本や地域の文化に対して意識しているように感じました。

○教育長

衣服から食材等、日本文化についてご意見をいただきました。少し観点は変わりますが、消費者生活に関して、多様化するキャッシュレス決済は、昨今の社会状況において、特に注目されているところで、このコロナ禍で益々この状況が進んでい

るように思いますし、この点についても各教科書会社取り上げていますが、開隆堂については、メリット・デメリットについて説明されている上に、考えてみようというコーナーではネット購入による支払いについて考えさせており、急激に変化する社会の中で、今の子どもたちにとっていい取り組みになると思います。他にご意見はないでしょうか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 0 人、教育図書 2 人、開隆堂 3 人

○教育長

開隆堂が 3 名挙手されていますので、採決の結果、技術家庭（家庭分野）は、開隆堂出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、英語の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

英語の採択候補図書 6 社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず、東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「創意工夫」「発展的な学習」に特色がございます。QRコードを読み取り、音声はもちろん、動画もあり、あらすじをつかみやすいように配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に、開隆堂でございますが、あらゆる項目で配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。3年分のCAN-DOリストが掲載されているので、先の見通しが立てやすく、年4回確認できるようになっており、目標が立てやすくなるように配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は開隆堂を推薦しております。

次に、三省堂でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「創意工夫」「発展的な学習」に特色がございます。英語のチラシや観光マップなどからほしい情報を読み取り、アウトプットにつなげる活動が豊富にできるように配慮がなされております。

次に、教育出版でございますが、各項目で配慮がなされており、「特に人権の取扱い」「創意工夫」に特色がございます。小学校からの復習ができるように、小学校で習った単語が掲載されており、赤シートがついているので、自分で隠しながら学習できるよう工夫がなされております。

次に、光村図書でございますが、あらゆる項目で配慮がなされており、「特に内容の程度」「発展的な学習」に特色がございます。全学年帯教材を用いて、様々な対話練習ができるように配慮がなされております。

最後に、啓林館でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目

標・内容の取扱い」「内容の程度」「組織・配列」に特色がございます。Unit の part 1～part 3 は短めの文で、一度に目に入る情報量が適量であり、Read & Think でしっかり「読む」構成になっております。このような理由から、選定委員会は啓林館を推薦しております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、英語の審議をお願いします。

○委員

開隆堂についてですけれども、1年生の24、25ページを見てみてください。このように、プログラムごとに右上に目標があり、右下に達成できたらチェックする欄があり、また、音読をしたらマークをする、Q&A形式がある、と同じ形ですすんでいきます。子どもたちにとっては授業の流れがつかみやすいように感じます。

○教育長

授業の流れがわかりやすい、つかみやすいという観点でご意見をいただきました。啓林館も1年生の28、29ページですが、見ていただけますか。見開きのページで左に文、右にターゲット、プラクティス、ユーズ、と同じパターンになっていて分かりやすいように思います。他にご意見ございますか。

○委員

「見やすい」という部分で言いますと、東京書籍は教科書が他の教科書会社に比べて大きい分、1年の15ページのように、イラストや写真も大きく扱われていて、インパクトがあるように感じます。続いて、1年生の116から117ページのイラストも海外の方が書いたようなイラストでおもしろいなと思いました。

文法の部分で言いますと、三省堂の文法のまとめは、1年生の96ページでは、なじみのある物語のイラストがあったり、3年生の18ページでは時系列でまとめられていたりして、分かりやすいと思いました。

○教育長

いろいろ見比べていただきました。他にご意見ございますか。

○委員

親しみやすさでいうと、光村図書の例えば1年生の58、59ページ「アクティブグラマー」というページでは、各ページの大事な部分には、かわいらしいイラストが「学習の案内役」が出てきて、とても親しみやすそうに感じ特徴的だと思います。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

教育出版も例えば1年生の48、49ページのように、単元が終わるごとに、まとめのページがあり、単元ごとに復習できるのが分かりやすいと思います。

○教育長

いろいろな教科書で特色が出ていますが、今の教科書は単元ごとの復習に特徴があるというご意見でした。他にご意見ございますか。

○委員

文法も大切ですが、開隆堂の巻末資料にはシーンごとのまとめがあり、英文の横に日本語があり、重要な表現が分かりやすく書かれています。英語が苦手な子どもたちも安心できると思います。

○教育長

つまずきや好き嫌いが出てくる教科かもわかりませんので、英語が苦手な子をなんとか助けてあげる工夫、わかりやすい工夫というご意見をいただいております。他にご意見ございますか。

○委員

開隆堂の各学年の巻末資料に「アクションカード」というものがあり、イラストの後ろに動詞が書かれているのですが、授業もこれを使ってゲーム感覚で学ぶことができるとよいものだと思います。

東京書籍もユニット毎に「ユニットアクティビティ」というページがあります。例えば1年生の73ページを見ると、新しく学習した表現を使ってクイズやゲームができるようになっていて非常に特徴的だと思います。

○教育長

クイズやゲームで楽しく学べたらいいですね。そういった工夫がされているということですね。他にご意見ございますか。

○委員

三省堂は1年生の18、19ページのように、左ページの「ポイント」で大事な部分をおさえて、右ページの「ドリル」で言葉を変えて何回も練習できるように工夫されていますね。

○教育長

工夫面でのご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

開隆堂は2年生の13ページのように、プログラム毎に「Retell (リテル)」のページがあって、学んだことを自分の言葉に変えて説明できるようになっていますね。内容を理解していないと、自分の言葉で説明することはできないと思うので、表現力がつきそうに思います。

○教育長

英語の力を身に付けるための様々な工夫について、いろんな視点でご意見をいただいておりますが、他にご意見ございますか。

○委員

話は変わりますが、4線の取扱いで幅が各社違うように思います。中学1年生の最初の学習段階の子どもたちにとって、広い方が書きやすいかなと思うのですが、みなさんどう思われますか。各社比べていただきたいので、参考ページをお伝えしますので見比べてみてください。東京書籍13ページ、開隆堂15ページ、三省堂21ページ、教育出版19ページ、光村図書10ページ、啓林館12ページです。

○教育長

書きやすさという視点でご質問をいただいておりますが、みなさんいかがでしょうか。

○委員

中学校1年生は、小学校で習っているとはいえ、まだ英語を書くことにそんなに慣れていないと思うので、私も広い方が書きやすいと思います。東京書籍の13ページと開隆堂の15ページを比べると、開隆堂の方が広くて書きやすそうだと思います。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

教育出版の19ページ、啓林館の12ページも4線の幅が広がっているので、書きやすいように思います。

○教育長

委員はいかがですか。

○委員

三省堂の21ページ、光村図書の10ページを見ると、4線の幅が狭いので、1年生の最初にしては、少し書きにくいかなと感じています。

○教育長

みなさん幅の広い方がよいというご意見ですね。

話は変わりますが、1年生の話で言いますと、中学生になって英語でつまづく最初の文法が三人称単数現在形、いわゆる3単現だとよく聞きます。みなさん1年生の教科書で、3単現の最初の部分を見ていただいてどのように感じますか。ページで言いますと東京書籍が58ページ、開隆堂が62ページ、三省堂は70ページ、教育出版は34ページ、光村図書は86ページ、啓林館は66ページになります。

○委員

東京書籍の58ページ、教育出版の34ページを見ると、最初から文字数が多いと思いますがいかがでしょうか。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

文字数で言うと、光村図書の86ページや啓林館の66ページが少ないように思いますが、開隆堂の62ページが4コマ漫画のようになっているので、興味を持てる学習ができるように感じました。

○教育長

お二人からご意見をいただきました。他にご意見ございますか。

○委員

私もそう思います。大事な部分も太字になっているので、分かりやすいなと思いました。

○教育長

他の視点で何かご意見はございますか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍0人、開隆堂4人、三省堂0人、教育出版0人
光村図書0人、啓林館1人

○教育長

開隆堂が4名挙手されていますので、採決の結果、英語は、開隆堂出版株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

続いて、道徳の教科用図書採択を行います。採択候補図書の特色等について、選定委員長、簡潔に説明をお願いします。

○選定委員長

道徳の採択候補図書7社についての特色等、説明をさせていただきます。

まず東京書籍でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「内容の程度」「創意工夫」に特色がみられます。「いじめのない世界へ」というユニット教材を全学年に掲載し、3つの教材を通して捉えられるようにされております。これを活用して、いじめをしない、いじめを許さない心を育てる

ように工夫がなされております。このような理由から、選定委員会は東京書籍を推薦しております。

次に教育出版でございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「組織・配列」に特色がみられます。どのページもユニバーサルデザインの観点からシンプルに写真やイラストが適切に扱われ、文字が読みやすく配慮がなされております。

次に光村図書でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「人権の取扱い」「内容の程度」「創意工夫」に特色がみられます。「学びの記録」で1時間ごとに学んだことや、気づいたことが書き込めるポートフォリオ形式のシートが各シーズンに1枚用意されており、今までの学習を思い出しやすいようよく配慮がなされております。このような理由から、選定委員会は光村図書を推薦しております。

次に日本文教出版でございますが、あらゆる項目に配慮がなされており、特に「創意工夫」「発展的な学習」に特色がみられます。「プラットフォーム」のページでは学習内容を他の教科や活動とつなげ、考えや視野を広げ、理解が深まるように補助的な説明が掲載されております。このような理由から、選定委員会は日本文教出版を推薦しております。

次に学研教育みらいでございますが、バランスよく配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「発展的な学習」に特色がみられます。さまざまな道徳的価値の視点で、他の教科の学習と関連を図り、幅広い視野で学習を深められ、教材末の「ふかめよう」で自分自身に置き換えて考えることができるように配慮がなされております。

次に廣済堂あかつきでございますが、各項目に配慮がなされており、特に「目標・内容の取扱い」「創意工夫」に特色がみられます。道徳教材として長く読み継がれてきた名作が多く、3年間を通した話になっているものもあり、生徒の心を揺さぶり、より深い道徳的思考へと導くように、よく配慮がなされております。

最後に日本教科書でございますが、各項目に配慮がなされており、特に「組織・配列」「発展的な学習」に特色がみられます。教科書に掲載されている順番に縛られることなく、自由に教材を活用でき、各教材のタイトル部分に内容項目番号が記載されておりますので、どの項目を学習するのか理解しやすいように配慮がなされております。

以上です。

○教育長

それでは、委員の先生方、道徳の審議をお願いします。ご意見ご質問等ございますか。選定委員長にお伺いしますが、日本文教出版と廣済堂あかつきが分冊構成になっておりますが、選定委員会では何か意見が出ていましたか。

○選定委員長

はい。選定委員会では、経験の浅い先生が指導する際は別冊ノートがあればその通りに発問できるのでやりやすいという意見が出ていました。ただ、経験が増えベテランの先生にとっては、新たにワークシートを作り直す必要がありますので逆に扱いづらいのではないかと、という意見も出ていました。

○教育長

廣濟堂あかつきの道徳ノートには、教科書に掲載されている教材と関連するような話が掲載されています。すべて「～しよう」と問いかけになっているので、生徒が考えるきっかけになると思います。これだけでも読みごたえがあり、授業で使えそうですね。他にご意見ございますか。

○委員

廣濟堂あかつきは「学習の記録」もすべて同じ形なので、どんな発問でも対応できると思いますし、学んだ順番で記録できるのもいいと思いました。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

日本文教出版の道徳ノートは、ワークシートにイラストや写真があり、教材とのつながりが分かりやすいです。また、保護者記入欄もあり、家庭との連携を図ることができるように思います。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

日本文教出版のワークシートには「自分への振り返り」が掲載されていて、その日の授業で学んだことや考えたことを振り返ることもいいですね。

○教育長

道徳ノートのお話が出ておりますが、他の視点でいいますと、どの教科書にも道徳の授業でどんなことを学ぶのか、どんな風に学ぶのかが掲載されていますが、学習という視点から見比べていただいて、どれが一番分かりやすいか等ご意見ございますか。

○委員

私が思うに、東京書籍の1年生3ページから6ページ。見開きになっていて見やすいと思います。話し合いの手引きも掲載されているので、生徒たちが授業で話し合いを活発にできるよう配慮されているように感じました。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

私もそう思います。司会をしないといけない子どもがどういう風にすすめていくかも分かりやすく説明されています。

○教育長

授業のすすめかたを考えたときに、分かりやすい教科書だというご意見をいただきました。先ほどのお二人の委員のご意見にもありましたが、東京書籍で授業のすすめ方も漫画で描かれていて流れがわかりやすいと感じました。教材の内容についてはどうでしょうか。何かご意見ございますか。

○委員

教材の内容をより深く掘り下げて考えることができるように配慮されているのは、日本文教出版だと思います。1年生の11ページ「参考」のページにはキャプテン翼、また49ページにはあいだみつおさんのことを載せています。子どもたちが興味をもちやすいですね。また「プラットフォーム」のページにはいろいろなことが載っていて視野が広がるのではないかなと思います。

○教育長

今のご意見についていかかですか。

○委員

そうですね。日本文教出版の1年生42、43ページですが、アンガーマネジメントの説明が分かりやすくイラストつきで、感情と上手に付き合うことで、周りとのコミュニケーションも上手にとることができるよう工夫されています。また、その点で言いますと、学研教育みらいも1年生88、89ページでは、クローズアップのページがありまして、「ネットがないと生きていけない？」はネット依存のことも掲載されており、そこから不登校につながったりすることもあるので、子どもたちが考えさせられるよう工夫されていると思います。

○教育長

いろいろご指摘をいただきましたが、他にご意見ございますか。

○委員

日本教科書は2年生の教科書58ページでは、長嶋茂雄さんと松井秀喜さんなど、様々なジャンルの人物を取り上げた教材が掲載されているので、子どもたちが関心をもって読むことができると思います。

○教育長

いろいろと教材の内容等々について取り上げてお話をいただきましたけれども、委員のお話にありましたように、教材内容をより深く掘り下げて考えるという点で、他にご意見等ございますか。

○委員

光村図書はどの教材の最後にもありますが、例えば1年生12ページ、「考えよう」という項目があり、自分がどんな風感じたか、深く考えることができるように配慮されていると思います。「見方を変えて」という項目では、視点を変えて考えるこ

とができるので、他者理解にもつながるかと感じました。

○教育長

他にご意見ございますか。

○委員

教育出版は全てのタイトルの下に、その題材に関する簡単な問いかけがあります。例えば、1年生の8ページを見ていただくと「あなたが うまれた ひ」というタイトルの下には「あなたが生まれた日に、この世界では何が起こっていたのだろう」と書かれています。子どもたちがどんな内容か興味がわくように工夫されていると思います。

○教育長

少し話が変わりますが、東京書籍の教科書の巻末にはホワイトボードと「心情円」というのがついていますが、選定委員会ではこれについて話が出ていましたか。

○選定委員長

はい。選定委員会では、ホワイトボードにつきましては、他の生徒と意見交流をするときに使えるのではないかという話が出ていました。また、心情円につきましては、最初の自分の気持ち・考えはこうだったが、授業の最後にはこう変わった、という変化が目で見えて分かるようになっていきます。学校によっては教員が作っているというようにも聞いています。道徳以外でも使うことができるにではないでしょうか。

○教育長

ありがとうございます。使えるツールであるということですね。生徒の意見交流や自分自身について深く考える、という点では、分かりやすく良いかもしれませんね。他にご意見ございませんか。

○委員

東京書籍の3年生ですが、最近、ネグレクト等の虐待のニュースを頻繁に耳にしますが、そういう中で、3年生72ページをご覧ください。「助産師からのメッセージ」が掲載されています。すごく重たい内容ですが、子どもたちにぜひ心にとめてほしい内容だと思いました。

○教育長

深く深く自分を理解するということが道徳科の中でもすごく大事なことかと思えます。自己理解を深めていく中で、他者理解が深まっていくというご意見だったと思います。他にご意見はありませんか。内容も大変豊富なので、読みごたえもあり選択するのも難しいのではないかと思います。ご意見ございますか。ないようでしたら、採決を取ります。みなさんが推薦される教科書に挙手をお願いします。

東京書籍 3人、教育出版 0人、光村図書 0人、日本文教出版 2人、

学研教育みらい0人、廣済堂あかつき0人、日本教科書0人

○教育長

東京書籍が3名挙手されていますので、採決の結果、道徳は、東京書籍株式会社を採択いたします。よろしいでしょうか。

○委員一同

「異議なし」の発言

○教育長

長時間にわたるご審議ありがとうございました。「令和3年度使用学校教科用図書の採択」につきましては、市教育委員会事務局、府教育委員会、各学校等の積極的な協力のもと、また市民からも幅広い意見が届けられ、本日、採択の最終日を迎えることができました。

新学習指導要領の趣旨に則るとともに、本市の教育課題の一つでもあります「確かな学びが実感できる学校づくり」を進めていくことを念頭に置きまして、教科書の採択を行い、本日無事終えることができました。

来年4月から、本日採択した教科書を用いまして、それぞれの学校において、主体的・対話的で深い学びを各教科で実践し、「学ぶ・わかる・できる」を本市の生徒が実感できる質の高い教育の提供をめざします。

これを持ちまして、臨時教育委員会を閉会いたします。

ありがとうございました。

会議事項が終了したので、閉会を宣する。

午後2時55分